

2017.9.20

2012年から始めた勉強会も今度で6回目になります。「拡大写本の今後をさぐる」というテーマで、今後を考えるヒントになればと、いろいろな方面の方に来ていただき機会を重ねてきました。協議会の拡大教科書製作の実績を見てもみると、小、中、高校の4年間の推移は2014年度469タイトル、2015年度338タイトル、2016年度367タイトル、2017年度300タイトル、とほぼ毎年減少しています、皆様のところでは何か模索を始めていらっしゃるのでしょうか。私たちは今、培ってきた知識や技術で弱視のお子さんたちに役に立つ図書を作り続けたいという共通の目標を掲げ、教科書以外の副教材や一般図書にも重点を移しかけています。今回は実際に弱視のお子さんたちを指導していらっしゃる普通校の通級学級、盲学校図書室担当、盲学校の先生をお招きして、お子さんたちの日常や読書環境について具体的に詳しいお話を伺うことで、何が求められているかをつかむことができると企画いたしました。是非皆様のご参加をお待ちいたします。

全国拡大教材製作協議会 代表世話人 傍島 純子

拡大写本の今後をさぐる

第6回勉強会

拡大図書の利用状況の現状を聞く

日時：2017年11月5日（日）午後1:00～3:30（受け付け12:30～）

場所：東京都障害者福祉会館 教室（2階）

パネラー：葛飾区立住吉小学校 佐島 順子 先生

横浜市立盲特別支援学校 藤岡 理恵先生

千葉県立千葉盲学校 鈴木 直美先生

協議会実績報告担当 世話人 山本 裕美子

会場地図：



※返信用はがきを同封いたします。出欠のお返事は10月17日までをお願い致します。ご出席ご欠席を問わず、先生方にお聞きしたい疑問や質問等をできるだけ多くお書きください。活発な会にしたいと考えております。

先生方のプロフィールは2ページにあります。

勉強会担当 猪狩 美知子

佐島 順子（さじま じゅんこ）先生

都立盲学校に勤務のあと小学校へ異動し、大田区、江戸川区、現在勤務の葛飾区立住吉小学校と弱視通級指導学級3校目になります。これまで、教科書や副教材、児童書などの拡大でボランティアさんにお世話になってきました。

弱視の子どもたちは本を読むことに抵抗のある子が多いですが、何とか工夫して読書の楽しさを味わってほしいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

藤岡 理恵（ふじおか りえ）先生

横浜市立盲特別支援学校 主幹教諭 司書教諭 本校勤務18年目

現在の所属は、高等部普通科。国語・社会（地理・現代社会）を担当するほか、自立活動では点字・歩行指導を担当している。普通科の教科書係をしている。

鈴木 直美（すずき なおみ）先生

千葉県立千葉盲学校 在職通算10年目

中学部1年生担当 数学は1～3年を教える

中学部の教科書担当